グラフでみる10年間の推移（2012(H24)~2021(R3)）

＜定点把握対象疾患とは＞

地域における指定医療機関（定点医療機関）から週または月単位で届出される疾患のことです。

＜定点医療機関とは＞

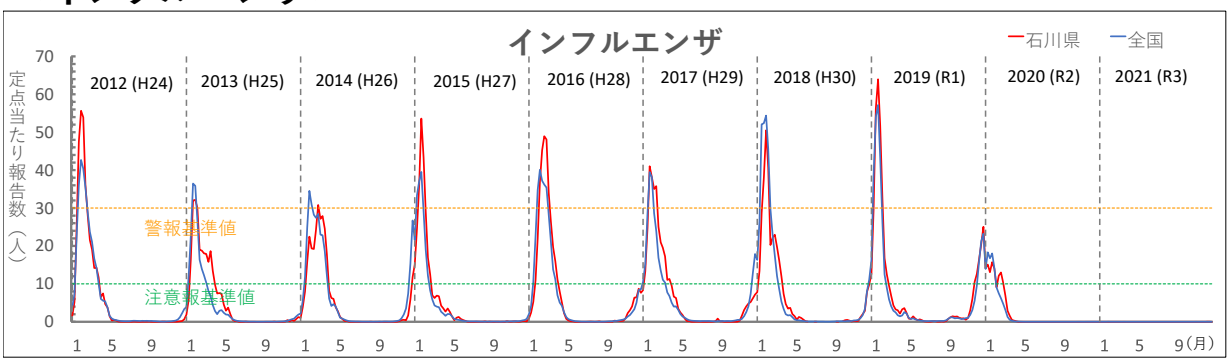
定点医療機関は人口及び医療機関の分布を勘案して選定されています。
定点把握対象疾患の流行状況を評価する際には、「定点当たり報告数」を使い、これは全ての定点医療機関からの報告数を定点数で割った値のことで、言いかえると1医療機関当たりの平均報告数を意味します。

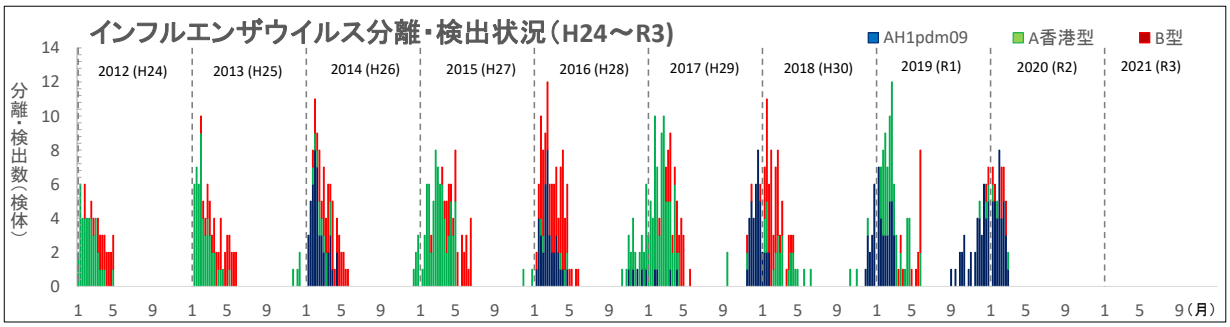
（週報）

種　別	ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ 定点	小児科定点	眼科定点	基幹定点
定点数（医療機関）	48	29	7	5
	（小児科・内科）	（小児科）	（眼科）	（患者を300人以上収容する病院で小児科・内科医療を提供しているもの）
対象感染症	インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）	RSウイルス感染症 咽頭結膜熱 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 感染性胃腸炎 水痘 手足口病 伝染性紅斑 突発性発しん ヘルパンギーナ 流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎 流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎 無菌性髄膜炎 マイコプラズマ肺炎 クラミジア肺炎（オウム病を除く） 感染性胃腸炎（ロタウイルス）

※グラフはインフルエンザと小児科疾患に特化して作成しています。
※一部の感染症については、国より警報基準値や注意報基準値が設けられています。
　警報：大きな流行が発生している状況のことを指します。
　注意報：今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い状況のことを指します。
（出典：厚生労働科学研究事業「新興・再興感染症の発生に備えた感染症サーベランスの強化とリスクアセスメント」）

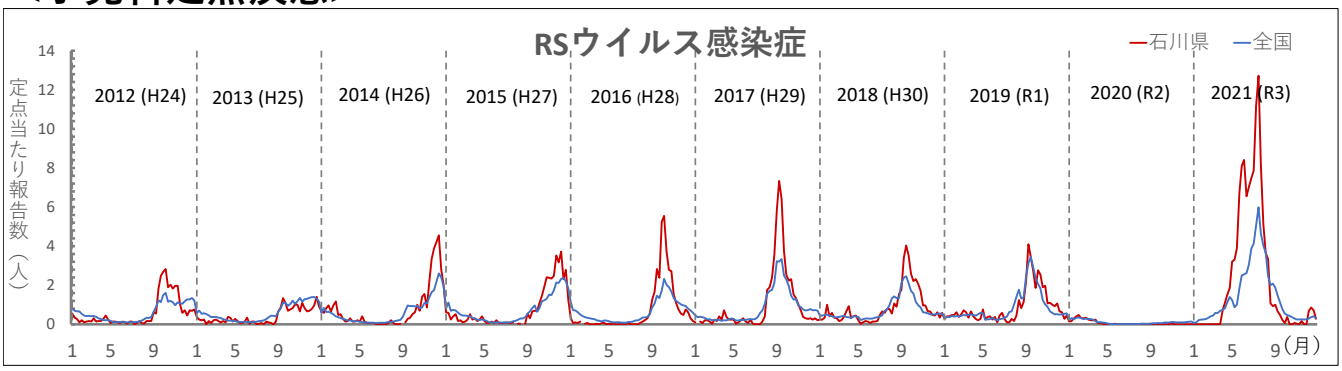
＜インフルエンザ＞



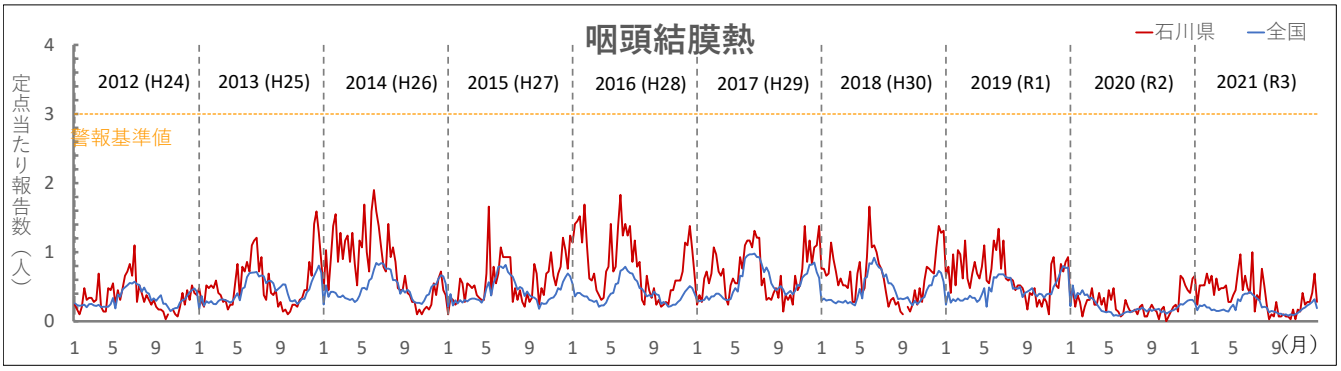


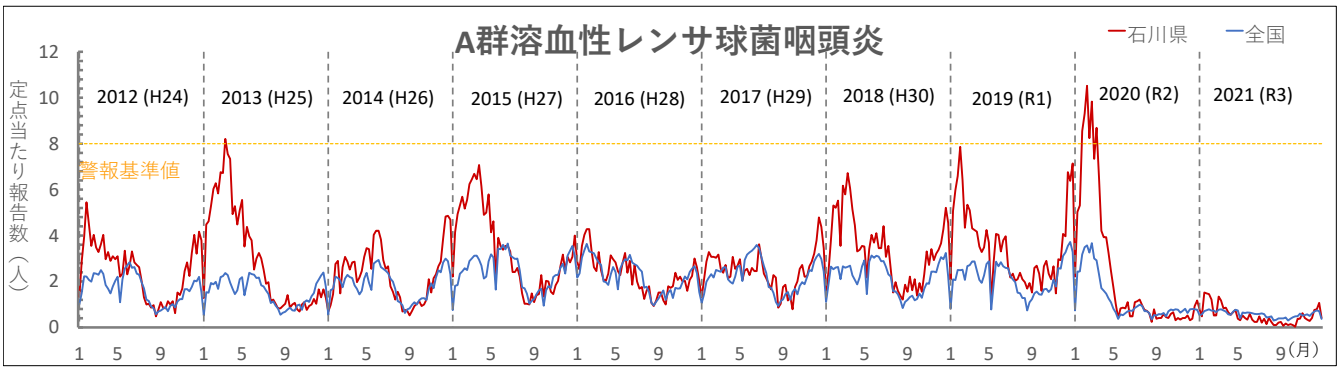
※インフルエンザ定点のうち、病原体定点に指定された５つの医療機関より、検体の提出をして頂いています。

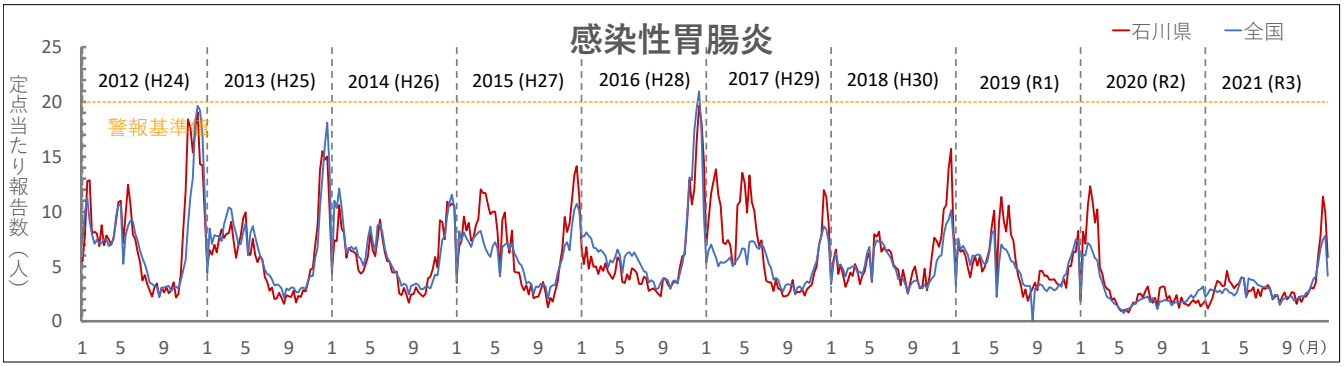
＜小児科定点疾患＞

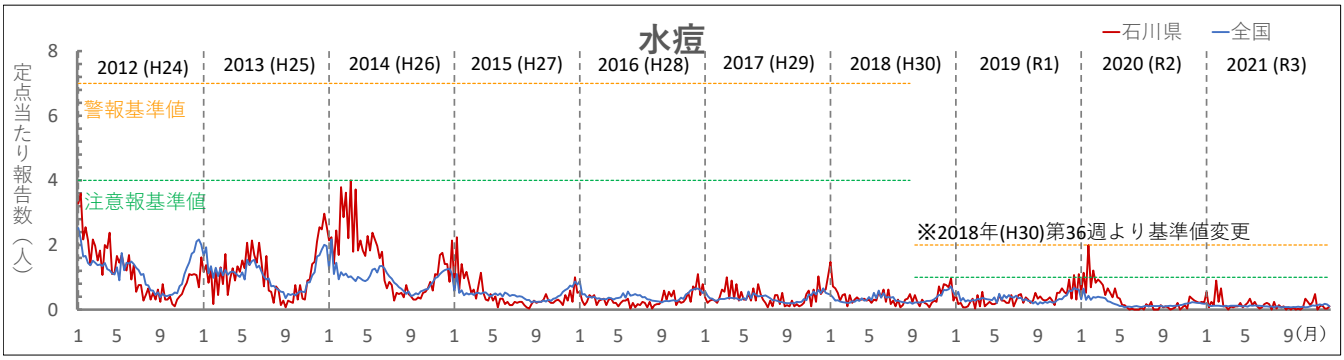


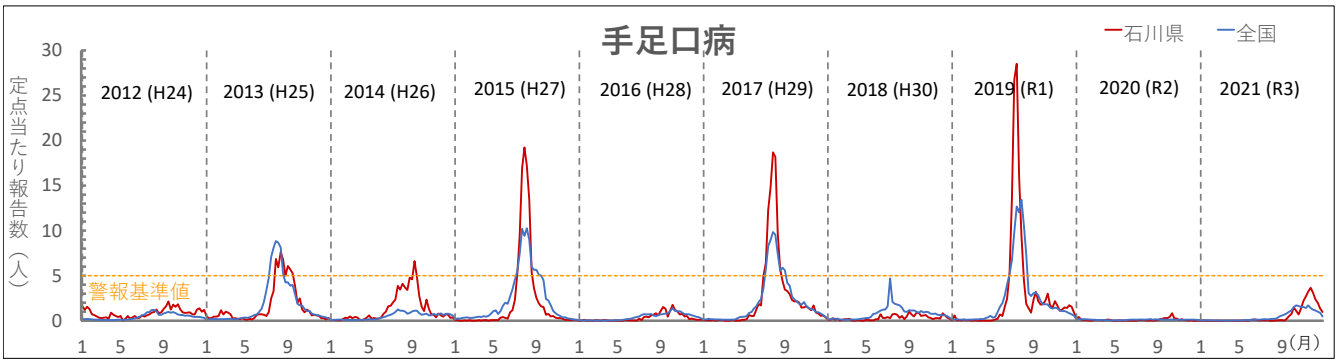
※RSウイルス感染症は、2018年第9週より定点当たり報告数に変更されました。（2018年以前は参考値）

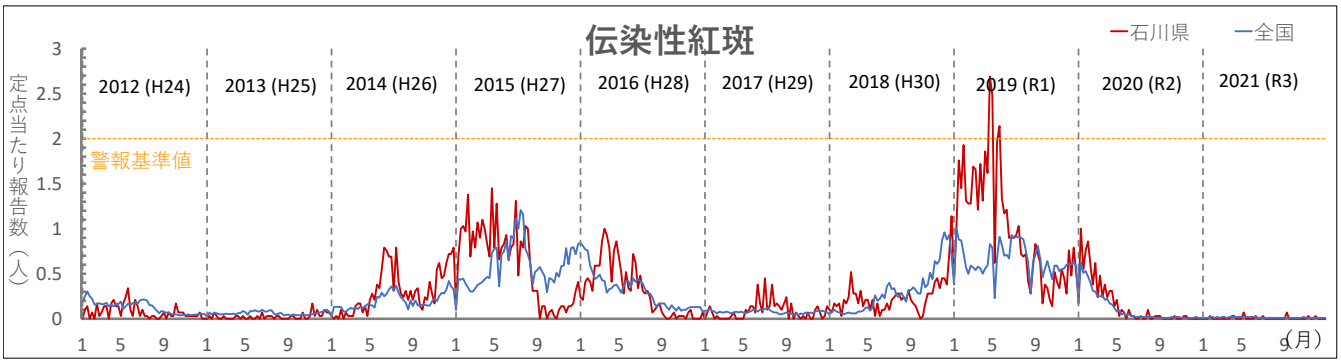


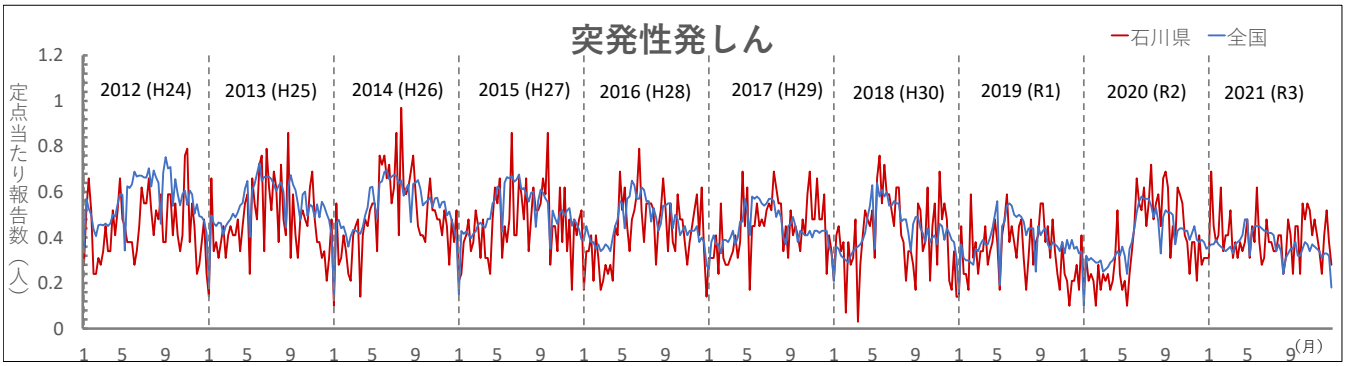


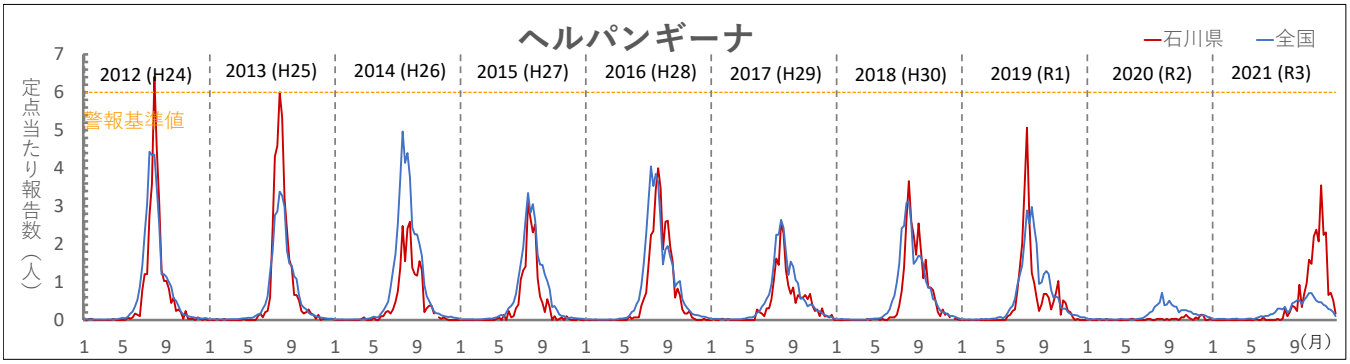


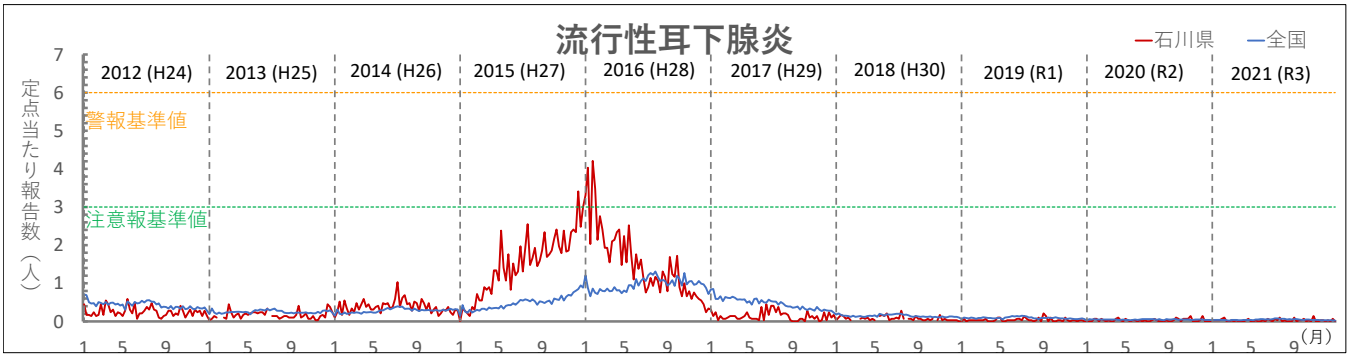



手足口病
石川県
全国
定点当たり報告数（人）
2012 (H24)
2013 (H25)
2014 (H26)
2015 (H27)
2016 (H28)
2017 (H29)
2018 (H30)
2019 (R1)
2020 (R2)
2021 (R3)
警報基準値
(月)


伝染性紅斑
石川県
全国
定点当たり報告数（人）
2012 (H24)
2013 (H25)
2014 (H26)
2015 (H27)
2016 (H28)
2017 (H29)
2018 (H30)
2019 (R1)
2020 (R2)
2021 (R3)
警報基準値
(月)


突発性発しん
石川県
全国
定点当たり報告数（人）
2012 (H24)
2013 (H25)
2014 (H26)
2015 (H27)
2016 (H28)
2017 (H29)
2018 (H30)
2019 (R1)
2020 (R2)
2021 (R3)
(月)


ヘルパンギーナ
石川県
全国
定点当たり報告数（人）
2012 (H24)
2013 (H25)
2014 (H26)
2015 (H27)
2016 (H28)
2017 (H29)
2018 (H30)
2019 (R1)
2020 (R2)
2021 (R3)
警報基準値
(月)


流行性耳下腺炎
石川県
全国
定点当たり報告数（人）
2012 (H24)
2013 (H25)
2014 (H26)
2015 (H27)
2016 (H28)
2017 (H29)
2018 (H30)
2019 (R1)
2020 (R2)
2021 (R3)
警報基準値
注意報基準値
(月)